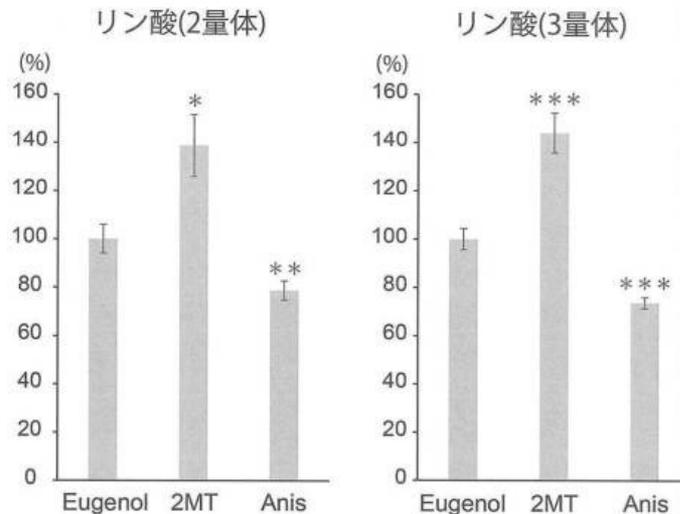


発明の名称	情動の計測方法		
出願人/権利人	脳科学香料株式会社	発明者	小早川 高、小早川 令子、曾我 朋義
出願日	平成30年5月21日	出願番号	2018-097031
公開番号	2018-151402	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



リン酸(2量体)、リン酸(3量体)のそれぞれに関して、オイゲノールの匂いを提示したマウスの血漿中に含まれるリン酸量の平均を100%としたときのリン酸量の平均±標準誤差

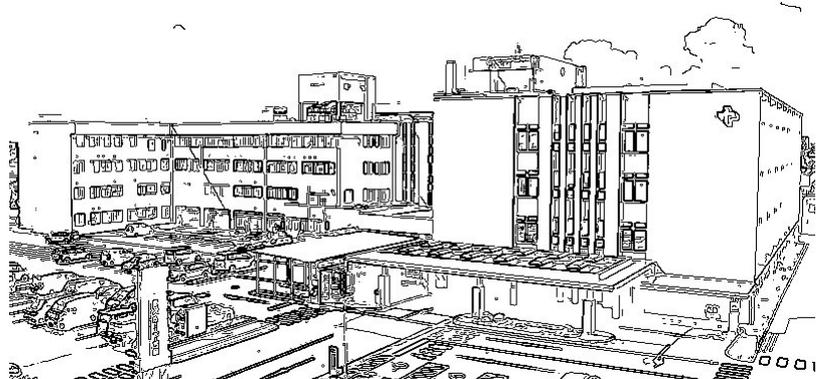
発明の概要

生体サンプルに含まれるマーカー量の測定により、恐怖や嫌悪を含む各種の情動を計測する方法

特徴

恐怖臭によって誘発される先天的な恐怖情動はこれまでに知られていない生理応答を伴う新たな種類の情動であるが、情動を客観的に測定する技術は確立されていない。本発明は、血液、唾液、尿などの非侵襲的に採取できる生体サンプルや、組織片などの侵襲的に採取できる生体サンプルに含まれるリン酸やリン酸類又は無機リンの濃度を計測することにより、恐怖や嫌悪を含む各種の情動を計測する新たな方法である。先天的恐怖情動と後天的恐怖情動を区別して測定することが可能であり、既存のストレスマーカーを使用する方法に比べ、個体差が少なく、コストが安いという利点を有する。

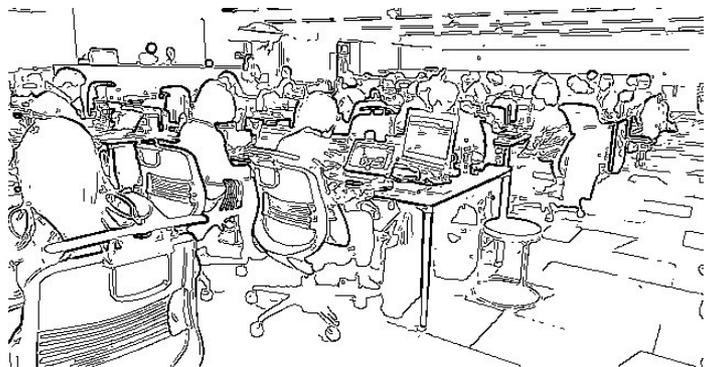
応用の可能性



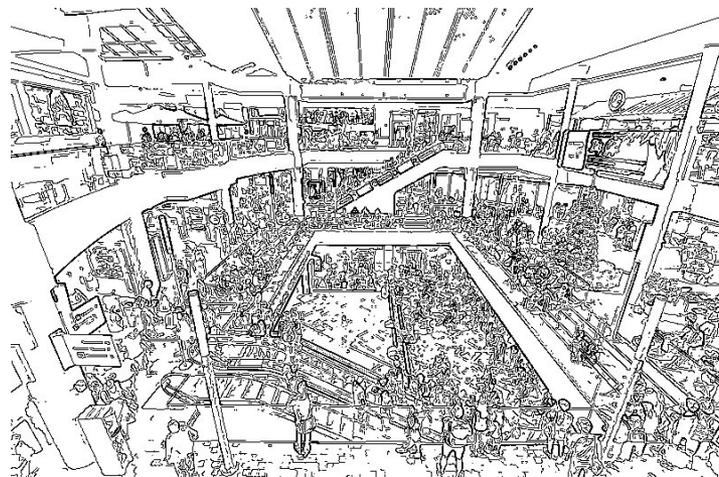
病院



役所



職場



ショッピングセンター



学校



空港

など

応用の可能性

- ・病院
- ・学校
- ・職場
- ・役所
- ・ショッピングセンター
- ・空港
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・株式会社日立ハイテクノロジーズ
- ・東ソー株式会社
- ・株式会社エイアンドティー
- ・シスメックス株式会社
- ・アークレイ株式会社
- ・株式会社LSIメディエンス
- ・オムロンヘルスケア株式会社
- ・PHCホールディングス株式会社
- ・株式会社ニコン
- など

脳科学香料株式会社の当発明に関する最新動向

- ・同社のホームページは見受けられない。